

日本共産党市議団

小野寺幸恵・渡辺 満
工藤 良一・富岡 隆

一般質問

小野寺 幸恵 議員



▼アスベストについて

トマモール（旧長崎屋）解体の際、アスベスト除去作業で法令違反が判明。「一時作業停止命令」が出された問題で、事の経緯と原因、健康被害などについて質問しました。

また、元請業者とアスベスト除去業者に対し謝罪と市民への説明責任を果たすよう求めたのに対し、市長は「大変遺憾。誠意を持って市民に説明する必要がある。しっかりと伝えたい」と答弁しました。

さらに、「駅前エガオを解体することになれば同様の懸念が生まれる」と指摘し、「二度と法令違反が起きないように、市長が強い姿勢で臨むことが必要」と、トマモール解体作業に際し毅然とした対応をするよう求めました。

▼C判定の市営住宅について

取り壊しが予定されているC判定の市営住宅の住民は、介護施設を申し込んでいる方もいるが、施設が当たるのが先か、住宅を壊すのが先

か、不安を抱いている方がいることを紹介し、高齢者が多く、引越しが困難な状態であることから、福祉部との連携を提案しました。

福祉部長は、住宅課との連携の必要性を示し、「ケアマネージャーや包括支援センターとも連携し、個別に対応したい」と答弁しました。

富岡 隆 議員

▼明るい駅前に



平成27年12月議会会で工藤良一議員が、暗い駅前を明るくするためにイルミネーションの設置を提案した際、副市長は「平成29年のクリスマスには、やっぱり17万都市の駅だと思ってもらえるように努力したい」と答弁したことを示し、「今年はやるのか」と質問しました。

市長は「費用がかかる問題なので今年は難しいが、任期中にしっかりと道筋をつけることを約束する」と答弁しました。

▼JR路線廃止について

平成27年1月から運休している日高線について、全く改修していないことや、被害のない日高門別・むか

わ間も運休していることを指摘し、「こんなことが許されるのか」と、日高線廃止に対し存続を求めるアンケートの声を紹介し、市長の見解を求めました。

市長は「残念としかいいようがない」との認識を示しました。

また、国の責任での復旧を求めたことにに対し、市長は「国が財政支援をするように、もう少ししっかりとオール北海道で動いていく必要がある。そのために、道がリーダーシップを取る必要がある」と答弁しました。

委員会質問

工藤 良一 議員

▼ウトナイ展望施設について



道の駅ウトナイ湖に展望施設が作られることになったことを受け、市民や観光客への鳥インフルエンザの感染対策として、屋根つきの専用通路を作ることを提案しました。

市は建築基準法に抵触しないような施設を作りたいと答弁しました。この他に「苫小牧市中小企業振興

条例」、千歳基地所属の航空機が装備するミサイルの部品、長さ45cm幅40cm、重さ4.5kgの翼1枚を落下させ不明となっている事案と、9mm機関けん銃弾を誤発射させた事案について、安全装置の使用や取扱い規則が徹底されているのか質問しました。

渡辺 満 議員

▼自衛隊機等の飛行について



市は、「戦闘機などは市街地上空を飛ばない」と説明してきた経緯がありますが、戦闘機だけではなくオスプレイも飛行している実態があり、11月28日の夜には轟音をたてた陸上自衛隊のヘリコプターが飛行していたことを紹介し、現状把握を求めました。

また、これまで繰り返し市西部地区への騒音測定器の設置を提案してきましたが、財政的な理由から設置されませんでした。改めて設置を提案しました。

環境衛生部長は「私も自宅で騒音を経験した1人」と報告し、市東部地域に設置している固定騒音測定器を30年度に設置することが示されました。